

教団新報

定価 1部140円(本体133円+共200円)
予約購読料 1年分 共 5,000円
紙代のみ 3,500円
振替 00140-9-145275
本紙を購読ご希望の方は、前金を
そえて、お近くのキリスト教書店
へお申し込み下さい。
教会の購読料は負担金に含みます。

発行所 日本基督教団
169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18
日本キリスト教会館内 電話03(3202)0546
FAX03(3207)3918
発行人 内藤留幸
編集主筆 竹澤知代志
印刷所 株式会社きかんし



山田教会 (中部教区、三重地区)

メッセージ

ゼカリヤ書4章1〜14節 ペトロの手紙I 2章1〜10節

初めの小さなやかな日をさげすむな



井ノ川 勝

瓦礫の山を目の前にして

伊勢神宮の町に、主から伝道者として遣わされて26年。ひたすら主の御言葉語り続けてきました。しかし、時として途方に暮れることがあります。御言葉がこの町の人々に届かない。伊勢神宮と向き合って立つ教会が、主の教会として堅固に立っているのだろうか。

神の家を建て直そう

しかし、そこで繰り返して立ち戻り、聴く御言葉があります。誰が初めの小さな日をさげすむのか。預言者ゼカリヤが語った御言葉です。

神の民イスラエルは、50年にも及ぶ異郷の地での捕囚生活から解放されて、喜び勇んで祖国に帰って来

ました。ところが、そこでイスラエルの民が目にしたものは、崩壊の現実でした。国家も、神殿も、家もすべて崩壊し、瓦礫の山になっている。すべてが無に帰した状態の中から、どのような

にして国家、神殿、家を再建したらよいか。何よりもわが民族の信仰をどのように立て直し、信仰共同体を再建したらよいか。イスラエルの民は瓦礫の山の前で、途方に暮れ、頭を抱え込みました。そのような

その時です。ゼカリヤに御使いが語りかけます。ゼカリヤは主から示された幻を見ました。

主が新しいことを興された

金の燭台に七つの管があり、七つの灯火皿が付いています。そして燭台の左右に二本のオリブの木が立っています。

ゼカリヤは再び御使いに問いかけます。「燭台の右と左にある、これらの二本のオリブの木は何ですか。御使いは答えます。これは全地の主の御前に立つ、二人の油注がれた人たちである。」「油注がれた人たち」とは、神によって選ばれ立てられた人々です。具体的には、地上をくまなく見回る主の御目である。主の御目

初めの小さな日に献身し

「この町には伊勢神宮の神様が祀られているのだから、宮川から耶蘇を一人たりとも入れてはならない」という血書誓約が交わされた伊勢の町に、最初にイエス・キリストの福音を運んだのは、この町出身の大坂教会の女性信徒でした。」「初めの小さな日」でした。

「この町には伊勢神宮の神様が祀られているのだから、宮川から耶蘇を一人たりとも入れてはならない」という血書誓約が交わされた伊勢の町に、最初にイエス・キリストの福音を運んだのは、この町出身の大坂教会の女性信徒でした。」「初めの小さな日」でした。

生きた石として用いられ

ゼカリヤが預言した「ゼルバベルの手にある選び抜かれた石。王の系統を引くゼルバベルと大祭司の系統を引くヨシヤ。油注がれた2人を統合する王であり祭司である選び抜かれた石。ペトロはこの石こそ、主

イエス・キリストだと語ります。」「主は、人々から見捨てられたのですが、神にとつて選ばれた、尊い、生きた石なのです。」「神が主の教会を建てたために送られた石を、私たちは必要な石だと十字架に向かって捨てまし



旧会堂の瓦に刻まれた十字架の瓦(通称・十字瓦)が現会堂の壁に埋め込まれている

た。しかし、神はその捨てられた石を甦らせ、主の教会のための生きた隅の親石として据えられました。」「あなたがた自身も生きた石として用いられ、霊的な家に造り上げられるようにしなさい。」「

ストという隅の親石に組み込んで下さり、生きた石として用いて下さるのです。」「あなたがた自身も生きた石として用いられ、霊的な家に造り上げられるようにしなさい。」「

山田教会牧師

初めの小さな日をさげすむな

ゼカリヤは政治家ゼルバベルに語りかけます。「武力によらず、権力によらず、ただわが霊によつて、と万軍の主は言われる。」「再建の道は武力や人間の力によつてなされるものではない。ただ主の霊、主の力による。」「さらにゼカリヤは語りかけます。」「誰が初めの小さな日をさげすむのか。目の前が高く積まれた瓦礫の山を一つ一つ取り除く。それは大変な労力であり、果たして自分たちの作業が神殿再

国に帰って来ました。一人は政治家として、一人は信仰の指導者として。神はこの若き2人に、イスラエルの再建と将来を託しました。」「

そして主は既に再建のために、土台となる選び抜かれた石を用意しておられる。」「ゼルバベルの手にある選び抜かれた石を見て喜び祝うべきである。」「選ばれた石」とは、建物の土台を固めるために敷かれた石です。主はそのような石を既に据えて下さっておられるのです。」「

牧場の未来に展望はない。▼式の後には、聖餐式が続く。ちよと気になった。同じ幼児洗礼を受けた姉がいて、この礼拝にも出席している。小学生からのCS仲間も出ている。彼女等は聖餐に与ることはできない。▼結果は、杞憂に終わるところか、良い刺激になった。受洗というテーマを真剣に考える契機となったようだ。続々受洗者が出るとはいかないかも知れないが。▼この日の礼拝出席者は、子ども6名を合わせると99名。ちよと惜しい。しかし、迷子の羊は一匹ではない。病氣や、家庭の都合悩みを抱えて信仰が弱っていたりで、その人数は20を越える。



▼幼児洗礼者の信仰告白式を執行した。かれこれ30年説教壇に立っているが、全く初めての経験で、手順を間違えないかと緊張した。▼当人は高校2年生の女子。幼児洗礼を受けているくらいだから、両親共に教会員、しかも当教会の青年同士で結ばれ、結婚式を挙げた。当人も赤ちゃんの時から礼拝に出ている。教会の交わりの中で誕生し育った、所謂生え抜きとなる。同じ年頃のCS生徒も列席し、華やか、晴れやかなイスター礼拝を与えられた。▼幼児洗礼については議論がある。生え抜きという表現には抵抗を感じる向きもあるだろう。しかし、何と呼ぼうとも、牧場の中で子どもが生まれたいようでは、牧場の未来に展望はない。▼式の後には、聖餐式が続く。ちよと気になった。同じ幼児洗礼を受けた姉がいて、この礼拝にも出席している。小学生からのCS仲間も出ている。彼女等は聖餐に与ることはできない。▼結果は、杞憂に終わるところか、良い刺激になった。受洗というテーマを真剣に考える契機となったようだ。続々受洗者が出るとはいかないかも知れないが。▼この日の礼拝出席者は、子ども6名を合わせると99名。ちよと惜しい。しかし、迷子の羊は一匹ではない。病氣や、家庭の都合悩みを抱えて信仰が弱っていたりで、その人数は20を越える。

教区総会を前にして

各教区の課題を 覚えて祈る

北 海



- ①《総会主題》 2004 年 4 月に策定され 10 年間取り組むこととしている第 3 次長期宣教計画にあげられている標語「平和を生きる神の民」のもとに建てられている宣教方針。
- 1. 教会が新しくされるために「革新」。
- 2. 御業を共に担うために「連帯」。
- 3. 平和を実現するために「平和」。

②《最重要議案》 昨年度の総会において審議され継続となっている「パワーハラスメントの防止と問題解決に関するガイドライン制定に関する件」

③《祈りに覚えてほしいこと》教区内教会相互に連帯をしつつ、小規模教会を支える教区財政基盤の確保が出来るようになること。

(副議長 笠田弘樹)

奥 羽



①《総会主題》教区主題「さあ、共に生きよう」宣教計画重点目標

＊教会は神の栄光をほめたためるために「さあ、共に生きよう」と互いに呼びかけ、礼拝を献げ、新しい讃美と告白を生み出し、希望のメッセージを語ろう。

関 東



①《総会主題》関東教区総会の第 60 回を記念して、

「関東教区・日本基督教団罪責告白」案に基づいた礼拝式文で開会礼拝をし、その成立を目指す。

②《最重要議案》教区が「沖縄キリスト教団との合同の実質化」の課題を担い、合同の裂け目の克服を願って 10 年かけて検討した

(議長 呂原宗男)

東 北



①《総会主題》1973 年以来、一貫して東北教区は「共に働く教会」を宣教基本方針としている。

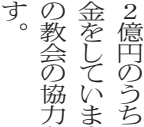
②《最重要議案》「これまで教区規則に位置づけられていた東北教区センターを廃止し、新たに教区の各教会を基本構成員とする

(新)東北教区センターを設立する件」2001 年に開設した教区センターに財政、組織(規則)、建築の 3 点から検討を重ね、教会のセンターとしての位置づけを明確にする。

③《祈りに覚えてほしいこと》地方崩壊の嵐の中で、伝道の実りである過疎地域にある地域教会の存続と再建。

(議長 高橋和人)

西東京



①《総会主題》(主題はないが)教区宣教の三本柱「伝道・連帯・奉仕」。

②《最重要議案》＊「教区開拓伝道推進に関する件」2008 年 9 月から続けている立川でのタ礼拝をさらに充実させ、伝道所開設に向けて次なる段階に踏み出す。

＊「教区特別会計規則制定に関する件」上記開拓伝道のための特別会計を設け将来の建物取得に向けた積み立てを本格的に開始する。

③《祈りに覚えてほしいこと》新潟県中越地震・中越沖地震の復興において現わすことのできた連帯の力を、福音伝道の推進と教会互助へと転換できるようにお祈りください。

(議長 正田國麿呂)

東 京

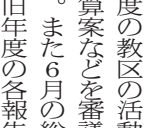


①《総会主題》…ありません。

②《最重要議案》…全ての議案。

③《祈りに覚えてほしいこと》…現在日本基督教団隠退教職ホーム「じのいえ信愛荘」の合併事業の推進がなされています。この

中 部



①《総会主題》特に主題は設定していないが、21 年ぶりに北陸で教区総会が行われる。

②《最重要議案》「開拓伝道献金」の継続に関する件、及び、「再建伝道費」の継続に関する件

③《祈りに覚えてほしいこと》能登半島地震被災教会再建(特に、七尾教会・羽咋教会新会堂建築)を覚えて祈ってほしい。教区の諸教会・伝道所の一致の基礎として教団信仰告白、教憲教規が尊重されること。

(書記 横山良樹)

東 海



①《総会主題》東海教区は教区総会に、特に主題を掲げていません。

②《最重要議案》主な議題は、按手礼、准允式執行、伝道所の第二種教会設立、前回決めた互助新案の施行を 1 年先に送り 2012 年度からすること。

③《祈りに覚えてほしいこと》祈りに覚えていただきたいことは、2012 年に向けて教区の互助を補えるよう分区分で教会相互顔の見える協力伝道を展開できる形作りです。信仰告白、教憲、教規を基に同質の福音によるユニークな伝道が展開されますように祈って下さい。

(議長 小出望)

神奈川



①《総会主題》従来より神奈川教区は特に主題を挙げていません。年に 2 回開催するうちの 2 月の総会で

大 阪



①《総会主題》「大阪教区の主にある一致と前進のために」

②《最重要議案》「3 号議案」に関する件。「教師互助規定」変更に関する件。「韓国基督教長老老会との交流を進めるための特別委員会」を設置する件。

③《祈りに覚えてほしいこと》教区総会が、「3 号議案」の精神に堅立ち、異なる意見にも耳を傾け、主にある一致と一致を目指す会議となるように、教師互助の充実のために、韓国基督教長老老会との交流を主の導きのうちに始めることができるように、お祈りください。

(議長 向井希夫)

京 都



京都教区は総会の主題を掲げることとはしていませんが、課題の一つとして取り組んでいるのは教区改革をめぐる検討です。各個教会の自主性を大切にしながら宣教連帯を深めて行くために機構、財政、宣教方針について協議を重ねています。教区総会でも協議を行います。もう一つは教団との関わりです。聖餐のあり方を巡って教師委員会が教師への「免職処分」通告を行ったことへの対応について、総会で協議し、教区の姿勢を確認して行きます。京都教区は「合同教会」としてのあり方について考え合うことを丁寧に積み重ねて行きます。

(議長 望月修治)

兵 庫



①《総会主題》主題はとりたてて設定しませんが、あえて申せば、教区内及び他教区との連帯・互助といえます。

なお基調講演の講師には、近時に地区再編を実施・体験された東北教区から講師をお招きします。

②《最重要議案》本原稿ベ切日時点では未だ全議案が揃わないのですが「2010 年度兵庫教区経常会計予算案」に関する件は、どの議案・次期活動にも何らかのかたちで関係する意味では最重要議案と申せます。

③《祈りに覚えてほしいこと》当教区は、来たる総

会が改選期です。

(議長 林邦夫)

東中国



①《総会主題》「教会をひろく」

②《最重要議案》＊三役体制に関する件。＊教会強化特別資金運用規定変更に関する件。

③《祈りに覚えてほしいこと》プロジェクトチームの活動について「第 58 回総会(2009 年 5 月開催)において、議案第 11 号「常置委員会の下に『中期宣教計画』を立案する『プロジェクトチーム』を設置する件」が圧倒的多数をもって可決されました。このことの中に、現在の東中国教区(48 教会・伝道所)のおかれている苦境の現状が現れています。教会を何とかしたい。何とかせねばという不安と期待が込められています。度重なる委員会が開催され、暗中模索の中、本総会においてプロジェクトチームより中間報告がなされます。本教区総会の主題はこの様な状況下、討議と祈りの中で示されたテーマです。(議長 宮崎達雄)

③《祈りに覚えてほしいこと》教区内 70 の教会・伝道所が様々な違いを抱えつつも、連帯・協力して歩むことができるように。

(議長 柴田もゆる)

四 国



①《総会主題》四国教区は教区総会で主題を掲げることとはしませんが、教区内諸教会および伝道所が、それぞれ神に委託された使命を自覚しつつ、協力し合って歩むことを目指しています。

②《最重要議案》すべてが最重要議案ですが、中でも教団総会議員選挙が大事だと考えています。

③《祈りに覚えてほしいこと》無牧だった 3 つの教会に教師が赴任されましたが、新たに無牧になる教会が 6 つ増えました。専任者

のを以下に挙げます。
＊北村慈郎教師に対する「免職」処分の撤回を求める件。
＊日本基督教団と沖縄キリスト教団との合同のとなえなおしと実質化を推進する件。
＊上関原発の建設に強く反対し、原発推進政策を再検討するよう要望する件。
＊災害対策特別会計設置に関する件。
＊教区事務所の移転設置に伴う必要資金を、引き続き「教区運営資金」会計から支出する件。
他に米軍再編、在日米軍岩国基地関連議案が予定されている。

九 州



①《総会主題》毎年特に定めています。

②《最重要議案》2011 年度の機構改正に備え、その方向性を確認する議案。各個教会の教区負担金削減のため、財政のスリム化、組織の合理化を目指します。教区の諸活動の質を保ちつつこれを行うのが課題です。

③《祈りに覚えてほしいこと》各個教会においても教区においても財政状況は困難さを増しており、教区間また教区内の連帯強化を願っています。しかしその願いに反して、様々な意見や立場の違いを理由に連帯を損ねるような対立が教区内においても顕在化しています。違いを超えた連帯と互助の充実のためにお祈りください。

(議長 深澤英)

沖 縄



沖縄教区からは、教団との関係上、回答をいただけていませんでした。



信仰生活50年に感謝する

日本伝道150年記念最後の礼拝

2010年3月22日(月・休)午後1時半～4時半、東京山手教会において日本伝道150年記念、最後の礼拝が行われた。

2009年1月5日初週連続祈禱会に始まった日本



東京山手教会に 82 教会 450 名が

伝道150年記念行事は、その完成へと導かれて礼拝が捧げられ、聖餐に共に与るお恵みを頂いて、すべて終了した。

日本伝道150年記念の年受洗後50年以上の教師・信徒は多くの数に上る。こ

れは、まさに日本伝道150年の3分の1を神の摂理のもとに守られたことになる。この御恩寵の主に感謝を捧げ、共に聖餐に与るた

めに、東京信徒会の呼びかけに応じて、東京地域82教会450名が出席した。

礼拝出席のために、事前登録の案内が出されたのは、前代未聞と言えよう。

礼拝は、司式・鈴木功男(目白)、奏楽・佐藤尚子(東京山手)、聖書朗読・笠原康子(銀座)、説教・聖餐・東京教区総会議長、東京山手教会長崎哲夫牧師により執り行われ、教団信仰告白、聖餐式、聖餐感謝・杉浦進(番町)、献金感謝・朝岡瑞子(船橋)の次第により進められた。

長崎哲夫牧師は「信仰生活50年に感謝する」と題して、呼びかけと祈りの言葉で説教を始めた。

「信仰生活50年を超えた信仰の勇士。主の教会の重鎮である大勢の方々を迎え、主に感謝の礼拝を捧げることが出来ることを無上の喜びとし、主の恵みと平和が皆さんの上にあるようにと切に祈る。」

「私たちの信仰とは、あのガラリヤの海辺で福音を証しし、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架にかけられ、3日目に復活し、40日の間、愛する弟子たちに現れ、天に上げられたイエスを、キリスト教の主と公に告白し、教会の頭として仰ぎ、聖書に証かされた、父子聖霊の神を信

ずることである。」

「信者の生活は、神への敬虔に裏打ちされた神の家の生活。これを感謝するとは、この信仰が負けたこと。その前に、あの時私たちを主に導き、主に結びつけんとして、熱き祈りを傾けられた教師、先輩信徒、父母の信仰と導きによるものである。まさに彼の人々は主が天から遣わされた、聖なる御使いであつたと信じている。」

千葉、西東京、関東、神奈川、東海。最年少出席者は7歳の中村優麻ちゃん。出席は叶わなかったが7月で105歳になる渥美崇子さんの登録もあった。続いて、後輩からの感謝の言葉・村上信男(小石川白山)、50年以上を代表して挨拶・岩澤嵩(銀座)、東京信徒会副会長挨拶・川上郁夫(西新井、和やかな内に、記念写真の撮影に入った。「信徒の友」で好評の相沢

明カメラン(野田)の苦心のアンクルは、正面十字架から展望する形で収まった。伝道200年へ贈る記念写真となろう。集会室に移り、茶話会の歓談は時を忘れて続いた。

【登録データ】登録参加教会数89教会(出席教会数82教会)、出席登録者数470名(当日出席450名)。受洗50年以上該当者登録3259名、対現住陪餐会600人が60歳以上である

社会委員会

社会委員会の特質と課題

福井博文

社会委員会は、教団総会議長の総括行為の下にある教務機関であり、常設委員会である宣教委員会の中の専門委員会である。社会委員会の司る事項は、1. 社会活動に関する調査・企画、2. 社会福祉事業団体との協力及び連絡、3. その他社会問題に関する事項である。

2 に関しては、日本キリスト教社会事業同盟、日本キリスト教保育所同盟、その他教団関係の社会事業との関係を総合的に強化することを旨とする。

3 については死刑執行を行わないよう声明を出す。全国社会委員会の活動は、宣教委員会と密接な連携の中で、社会委員会の働きがなされることを目標とし、また、常に新しい課題に向き合うことをためらわないように心がけている。

(社会委員長)

宣教師の働きを覚え祈りを

第3回宣教師人事委員会

去る2月26日(金)、教団B会議室で第3回宣教師人事委員会が開催された。

報告事項として、世界宣教師会のもとにある各委員会、事務局訪問者との面談報告等がなされた。

このように、主に召され、諸教会の祈りと支えにより派遣されてくる宣教師を、私たちはもっと深い感謝と、主への畏れをもって受け入れ、良い信仰の交わりを形成していきたいと心から願うものである。

多くの宣教師が、日本でキリストの福音が大胆に宣べ伝えられ、主イエスへの信仰が告白され、洗礼を受けて救われる者が一人でも起

11年7月の協議会へ向け準備着々と

第5回三国間協議会実行委員会

第36総会期第7回スイス・韓国協約(合同)委員会が、第5回三国間協議会実行委員会として、2010年3月12日に教団会議室で開催された。

前回実行委員会(2010年2月2日)において、協議会の開催日程が、関係諸教会との調整の結果、2011年7月5日(火)～8日(金)に確定している。

会場はYMC Aアジア青少年センターを予定している。

総合主題は、すでに「平和の絆」一つの体、一つの霊、一つの希望(エフェソ4章3～4節)東アジアの平和のための私たちの責任とヴィジョン」に確定している。外部からの基調講演者としては姜尚中氏が予定されており、協議会本体の終了後に、オプショナル・ツアーを実施する見通しも

協議事項としては、趣意書(和文と英文)の検討を行った。東アジアの平和という課題を聖書的・教会的な視点から理解するために各地域や教会に固有な経験を共有することで新たな展望をえることを目指している。趣意書は文章が確定した後、協議会への招待文書として各関係教会に宛てて送付される予定である。

さらに前回実行委員会に引き続いて、協議会のスケジュールおよび内容について具体的な検討が続けた。協議会は「基調講演」「小礼拝」「聖書研究」「分科会」「二国間協議」および「現地実習」(アジア学院などのユニットから成る。それぞれの内容と担当分配について、また会場や翻訳の準備などについていくつかの事項を決定した。

3月21日、逝去。63歳。北海道に生まれる。'78年同志社大学神学部を卒業、同年9月ユニオン神学校を卒業、'80年香里ヶ丘教会に赴任、'79年より05年まで同志社香里中学・高等学校に勤めた。遺族は、妻・静子さん。



中森 厚氏(無任所教師)



小幡鉄郎氏(無任所教師)

消息

1月28日、逝去。51歳。神奈川県に生まれる。'88年東京神学大学大学院を卒業、同年経緯緑岡教会に赴任、大船教会を経て、'93年より05年まで大井伝道所を牧会した。遺族は、姉・井上紀子さん。

【記念力ード】日本伝道150年記念力ードは出席者全員と、登録者全員に東京信徒会から贈呈された。「宣教師派遣直前の按手札」と「祈りの手」の2枚セット。

(鈴木功男報)

献身のとき

NOOSHIN
KENSHIN
TOKI

No.16



礼拝を正され

森 研四郎（鎌倉教会牧師）

つて、恥ずかしさは倍増した。その時、「自分の体を神に喜ばれる聖なる生けるいけにえとして献げなさい。これこそ、あなたがたのなすべき礼拝です。」（ローマ12:1）のみ言葉によって、これまでの礼拝を守る姿勢が正された。献金代わりにわが身を捧げようと決心。とは言え、これが直接献身に繋がるのではなく、教会に仕える信徒と思う程度であった。

母は真直ぐな性格の持主で、たとえ自分にとって面倒なことでも導くことは違ふときっぱり言える人であった。他者を思いやる心は人一倍強く、お国柄とは言え、炊きたてのご飯はお遍路さんが来なすつたらあげる」と残ったご飯がある時はそれを食べていたことが、今では懐かしい思い出である。そんな母に手をひかれ教会に通った。幼稚園の頃、関西学院大学神学部から米国のギャラツツ神学校に留学した長兄に手紙を書いたこともあった。しかし、いつの間にか母は教会に行かなくなり、私が改めて教会の門をくぐるのは、高校に通う駅で特別伝道集会のチラシを受けとった時からである。説教者は金井由信牧師。洗礼志願の招きに何のためらいもなく応じて前に出たものの、いざ洗礼となるとかたがて違った。

魂の救いに与り教会生活を送っていたが、ある時、献金がなかった。その時の礼拝は、恥ずかしさでいっぱいになった。祈りは神さまに聞いてもらえろという話をよく聞いていたので、一週間祈って土曜日を迎えた。しかし、奇跡は起こらなかった。翌週も同じであ

た父。自ら捨てた道に、頼みとしていた息子（長兄）が進み、牧師になってしまふのだから、父の落胆は激しく、母に当たっていたようだ。しかし、続いてわたしの弟そして、わたしが次々と受洗し、父はほんとうにやり切れなかったであろう、と父のこころの内が妙にせつない。

神学校卒業から早や30年の月日が流れた。どんな時にも、み言葉によりのたのみ、人を見るのではなく、神に目を注いで生き抜いた母の祈りが、また信仰の母のごとき阿部琴牧師の祈りが今も私を支えている。死の病あり、会堂建築あり、幼稚園舎改築あり、今も教会形成の課題は尽きないが、献身時に与えられたみ言葉は、どのようなときにも私の立ち返る場所である。30年を通して、そのみ言葉の真実を知らされる。神に聞き、従うことを学んだ日々とも言えよう。これからもこの学びは続くであろう。父と母とから受けた信仰を守り、ひたすら神のみに希望をよせて歩みたく思う。



湯河原にて
「聖書の成り立ちについて」の学びのひとこま

東京信徒会講演会のお知らせ

- ◎日時 2010 年 6 月 19 日（土） 14 時～ 16 時半
◎場所 富士見町教会 2 階集会室
◎講演 「生きにくい時代をどう生きるか？ 一辺境の地、現代のイスパニア、日本における種まきの課題」
◎講師 阿久戸光晴先生（聖学院大学学長）
◎参加費無料 どなたでも若い方をお誘いになって、ご出席ください。
◎参加申込 資料など準備の都合がありますので、FAX または E メールでお申し込みください（お名前、教会名、ご自宅 FAX または E メールアドレスを書いてお申し込みください）。
◎申込・お問合わせ
東京信徒会 FAX (044-969-2024 鈴木功男)
E メール (isaosuzuki@mvh.biglobe.ne.jp)

教団年鑑係からのお知らせ

教団新報 4693 号誌上で、年鑑正誤表について「4 月以降は教団ホームページからもダウンロードできます」と記載いたしました。個人情報保護のため、フリーでダウンロードする方法を避けることとなりました。HP のトップページから申し込みフォームにお入りいただき、必要事項をお書き込みの上、送信して下さい。後ほどメールに添付ファイルの方式で返送いたします。

日本基督教団事務局総務部
〒169-0051

東京都新宿区西早稲田 2 丁目 3 の 18
電話 03(3202)0541 FAX 03(3207)3918
ホームページ <http://www.uccj.or.jp>

ひととき

加藤 誠さん

世界宣教担当幹事に就任



1954 年、岡山県生まれ。東京聖書学校卒。シロアム教会牧師。本年 4 月、世界宣教担当嘱託幹事。

本年 2 月の常議員会で内藤留幸総幹事は、加藤誠嘱託幹事について「英語力」を任用の第一の理由に挙げた。新任早々の加藤さんにそのことを話すと、「中学、高校時代、英語は一番苦手な教科だった」と意外な答えが返って来た。上達のきっかけは、大学時代「ふとしたきっかけで E.S.S. に入り、そこで夢中になって勉強したから」だった。

召命を受けて神学校に転じ、教団の教師となった最初の赴任地の和歌山・丸の内教会時代、「英会話を忘れないために、宣教師のバイブルクラスに通った」が、忘れていないどころか、そのうち宣教師の代理で英会話

の指導を任されるようになった。

12 年過ごした名古屋西教会時代は、通訳をしたことがきっかけで、金城幼稚園のお母さんたちに英会話を教えた。

静岡一番町教会時代に教団の教育委員会委員を 3 期務めたが、教団の英文広報紙、教団ニュースレターに原稿を依頼され、英文で原稿を執筆した。その英語力が評価されて、本年 3 月まで 1 年間、教団ニュースレターの編集長を務めていた。

世界宣教担当幹事になるに当たって、11 年間過ごした静岡一番町教会から教団事務局近くのシロアム教会に移り、週 4 日教団勤務とフル回転で働いている。

る。

教団は現在 22 人の教師を海外の諸教会に送り込んでいるが、費用は受け入れ先、関係教会・サポート団体などが支えている。「教団が少しでも経済的にサポート出来たら」というのが、加藤さんの願いだ。

送り込んでいる数の 4 倍近い 80 数人の宣教師が、日本各地の教会・学校で奉仕している。「散らばっているから、孤立しがちで、それぞれ違う環境下で個別の問題に直面して、悩んだり、問題を抱えている」。加藤さんは、海外ミッションボードとの信頼関係を深めつつ「よらず引受係」の相談役に徹するつもりでいる。

教会の資料と保存

昨年、教会の「百二十五年史」が完成し、皆で喜びの時を持った。私共の教会は数回の火災を経験して教会資料が消失しているため、教会史を編むことに十分な取り組みができなかったと委員から聞かされた。しかし、たとえ資料が少なくとも、長い教会の歴史を記すには、多くの時と労を掛けてその資料を読み取る作業が必要だったのであり、委員の苦労は言うまでもないのである。無くて困り、あっても難しいのが資料の取り扱いなのである。

この年度替わりの時期にいつも

思うのは、一年の感謝と共に教会資料をどのように保存すべきかというところである。週報や総会資料・役員会資料を始め、必ず残すべき資料はあるに違いないが、教会の信仰の息吹を伝える資料をどのようにに選び、また用い易い形で残すのか課題なのである。教会の事柄を知るための資料はある程度同じものを積み上げることで満たされる。しかし後の人々が信仰の上

で必要とするその時代毎の教会の姿や礼拝の喜びというものはなかなか資料として残し難いものである。信徒の状況も幾人かを代表として捉えることが多い。しかし実際には、名前も知らない多くの先達の歩みがそこにあって、その時代の教会は形成されているのである。その意味では、これをそのまま伝える資料の保存は難しい。しかし教会資料は神の御業を伝えるものであり、後の時代の教会が聖霊に導かれ、信仰によって読み取るべきものである。（教団副議長 佐々木美知夫）